

令和4年度港湾関係研究奨励助成の決定について

令和3年12月吉日
公益社団法人 日本港湾協会
研究奨励助成事業 事務局

公益社団法人 日本港湾協会では、港湾の利用振興や発展等に役立つ経済、経営、計画、法律、文化などの研究を行う研究者や研究グループ等に対する研究奨励助成制度（選定者には1件100万円以内の助成）を平成16年度より設置しております。

本年度は日本港湾協会の情報誌「港湾」やホームページなどを通じ、令和3年8月1日から9月30日まで募集を行い、港湾防災や港湾経営、国際物流、港湾整備などの分野で8件の応募がありました。

研究奨励助成審査委員会（委員長 石原伸志 東海大学海洋学部 客員教授）で審査の結果、下記の3件の研究について助成を行うことと致しました。

なお、本研究助成は、来年度も継続して実施を予定しております。

1. 「運輸省港湾建設局の戦後史」
山田 健（獨協大学法学部法律学科・地域総合研究所 特任助手・研究員）
2. 「通過通航権が適用される日本の海峡の船舶自動識別装置（AIS）データ解析による特定一通過通航が日本の沿岸・港湾管理に与える影響の法的検討」
真山 全（大阪大学大学院国際公共政策研究科 教授）
3. 「洋上風力発電の環境評価」
若松 美保子（東京海洋大学学術研究院海洋政策文化部門 准教授）